

製品名: 乳酸脱水素酵素ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21569**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:1000-1:3000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:37kD;Observed MW:37kD

抗原情報

遺伝子名	LDHA LDHA;PIG19;LDHB;LDHC;LDH3;LDHX;L-lactate dehydrogenase A chain;LDH-A;Cell proliferation-inducing gene 19 protein;LDH muscle subunit;LDH-M;Renal carcinoma antigen
別名	NY-REN-59;L-lactate dehydrogenase B chain;LDH-B;LDH heart subunit;LDH-H;Renal carcinoma antigen NY-REN-46;L-lactate dehydrogenase C chain;LDH-C;Cancer/testis antigen 32;CT32;LDH testis subunit;LDH-X;
遺伝子 ID	3939.0
SwissProt ID	P00338;P07195;P07864;

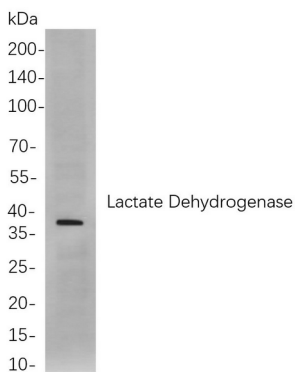
免疫原

背景

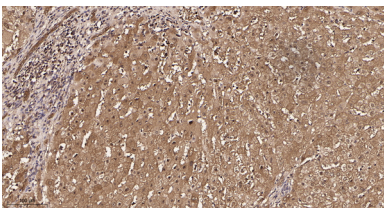
細胞局在: 細胞質、膜。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、嫌気性解糖の最終段階において、L-乳酸と NAD からピルビン酸と NADH への変換を触媒する。このタンパク質は主に筋組織に存在し、乳酸脱水素酵素ファミリーに属する。この遺伝子の変異は、労作性ミオグロビン尿症と関連付けられている。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つかっている。ヒトゲノムには、この遺伝子の転写されない偽遺伝子が複数存在する。[RefSeq 提供、2008 年 9 月]

研究分野

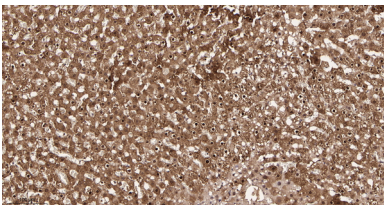
画像データ



Hela 細胞ライセートのウェスタンブロット解析 (乳酸脱水素酵素ウサギ mAb を使用)。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を使用した。



パラフィン包埋ヒト肝臓組織の免疫組織化学分析。1、乳酸脱水素酵素ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。



パラフィン包埋ラット肝臓組織の免疫組織化学分析。1、乳酸脱水素酵素ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。